

事務事業名		鷹生ダム多目的広場維持管理事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業								
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間		予算科目								
	施策名	良好な生活空間の創造						会計	款	項	目	事業				
	基本事業名	公園・緑地の整備				☐ 単年度のみ		01	08	03	01	01				
根拠法令						☒ 単年度繰返 (開始 14 年度～)										
所属	部課名	都市整備部建設課				☐ 期間限定複数年度										
	課長名	菅原博幸				【計画期間】										
	係名	業務係	電話	27-3111		年度 ～ 年度										
	担当者	森 友之	内線	312		※全体計画欄の総投入量を記入										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
鷹生ダム第1多目的広場は、鷹生ダム周辺環境整備事業の一環として整備が行われたもので、平成7年度から、ダム事業で出た残土により造成し、13年3月にはダム事業による広場の造成が完了した。その後、13年5月には「植栽計画検討会(ワークショップ 50名)」を開催後、その意見をもとに「利活用に係る懇談会(16名)」を開催し、広場の整備方針を決定し、13年8月から14年3月まで広場の整備を行い、14年9月まで芝の活着・養生に努め、14年10月にオープンした。広場の主要施設は、西洋芝11,000㎡、樹木 673本、散策路(L=225m、W=3m)、石ベンチ 80個、築山 1箇所となっている。 オープン当初(14年度)は、付近にトイレ施設がないため、仮設トイレを設置しての維持管理のみであったが、15年度からは仮設トイレの維持管理に加え、広場内清掃及び鹿等の糞の撤去、芝刈り、外周ネットの補修業務を、ダムがある日頃市町内の建設業者に委託していたが、16年度から業務内容、費用面を考慮し、6月から11月まで大船渡市シルバー人材センターに委託している。24年度からは利用期間の拡大を図るため委託期間を4月から11月とした。事業費は、委託料、修繕料、役務費(トイレ汲み取り手数料)として支出される。												総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
															都道府県支出金	
															地方債	
															その他	
															一般財源	
															事業費計 (A)	0
人件費	正規職員従事人数															
	延べ業務時間															
	人件費計 (B)	0														
トータルコスト(A)+(B)				0												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称 単位
広場11,000㎡の芝刈 4回(6月、7月、8月、9月各1回)、フェンス沿いの草刈5回(6月、7月各1回、8月2回9月1回)、鹿等の糞清掃・ゴミ拾い10回(4,5,7,9,10,11月各1回、6,8月各2回)、散水4回(6～9月各1回)	ア 維持管理業務日数 日
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ
広場11,000㎡の芝刈 4回(6月、7月、8月、9月各1回)、フェンス沿いの草刈5回(6月、7月各1回、8月2回9月1回)、鹿等の糞清掃・ゴミ拾い10回(4,5,7,9,10,11月各1回、6,8月各2回)、散水4回(6～9月各1回)	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・多目的広場利用者	名称 単位
・多目的広場	カ 多目的広場利用者数 人
	キ 多目的広場(平場)面積 ㎡
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク
・(多目的広場利用者が)広場をより安全、快適に利用できるようになる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
(多目的広場が)良好な状態を維持される。	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ 多目的広場不具合件数 件
公園・緑地が確保されている。	シ 多目的広場不具合対応率 %
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	585	852	800	804	999	900
	事業費計 (A)		千 円	585	852	800	804	999	900	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	30	30	30	30	30	30	
		人件費計 (B)	千 円	120	120	120	120	120	120	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	705	972	920	924	1,119	1,020
⑤活動指標		ア	日	34	37	36	35	52	52	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	3,230	4502	368	520	153	550	
		キ	㎡	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
		ク								
⑦成果指標		サ	件	0	0	0	0	0	0	
		シ	%	0	0	0	0	0	0	
		ス								

事務事業ID	0680	事務事業名	鷹生ダム多目的広場維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 鷹生ダム周辺環境整備の一環として整備された多目的広場が、平成14年10月にオープンしたことによる。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ グラウンドゴルフを中心に利用されている。天候等の影響により利用者数の変動がある。平成23年度～24年度は、東日本大震災以降盛川河川敷が使用できない状況にあったため、大船渡グラウンド・ゴルフ協会が定期的に使用していた。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 利用者から、現状は鹿の糞が多く広場利用に支障をきたしているの、鹿を広場に入れないための防護柵(再)設置を要望されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	鷹生ダム多目的広場を良好に維持管理することにより、快適な都市環境の創造につながっている。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	鷹生ダム多目的広場は、市民に憩いとレクリエーションの場を提供し、福祉の増進及び鷹生ダムの周辺環境の向上に資するため、市で設置したもので妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	多目的広場利用者に、広場をより安全・快適に利用してもらう、また、広場を良好な状態に維持すること以外の対象・意図の限定・拡充は考えられない。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	16年度は6月から行っていた維持管理事業を、18年度からは5月から行ったため、利用者が増加した。今後は、広場利用のPRをする機会を増やすことで、成果を向上する余地はあると思われる。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	多目的広場の維持管理を廃止・休止すれば、雑草が生い茂り、鹿の糞が増加するので、利用者は減少しながら、最終的にはいなくなり、鷹生ダムひいては大船渡市のイメージダウンにつながる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	14年8月に、鷹生ダム多目的広場設置管理に関する関係課長会議を開催した際、この広場の使用目的をスポーツに限定せず、憩い、レクリエーションの場ということであれば、体育振興課管理はなじまないという結論となった。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は大船渡市シルバー人材センターへの委託料(26年度の場合:4月～11月まで)であり、維持管理に要する日数も最低のものなので、これ以上の削減余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	シルバー人材センターへの委託および支払いの事務のみなので、これ以上の削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	使用料については、大船渡市鷹生ダム多目的広場設置管理に関する条例で定めているが、同時に使用料の減免規定もある。広場は主に、市内の地区・地域公民館活動や市内小中学校が教育活動の場として利用されており、これらはすべて全額免除の対象となっているので、条例上は適正化余地はない。	

事務事業ID	0680	事務事業名	鷹生ダム多目的広場維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
☒ ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	建設課長	菅原 博幸

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
☒ ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項